

●●●●●●●●●● 食品工場向け高機能フロア ●●●●●●●●●●

ACRYTONE FLOOR

●●●●●●●●●● アクリトーンフロア ●●●●●●●●●●

- 即乾
- 抗菌
- 耐衝撃
- 耐薬品

濡れたままでも、短時間で改修
 1日でできる、床のリニューアル



●●●●●●●●●●



特徴:

- 工場を止めなくても、床が濡れていても、リフォームが可能です。
- カビや菌に強く、衛生環境の向上を図れます。
- 耐久性が高く、過酷な条件下でもご使用いただけます。



床が濡れていても、短時間での施工が可能



アクリトーンフロアは、湿潤面に強力な接着力を有する特殊プライマーと、硬化時間が短い特殊モルタルを使用しています。湿潤状態のコンクリート上であっても、施工後約1時間程度で固まり、短時間での施工が可能となります。また、マイナス30℃下でも硬化反応しますので、冷凍庫内などの低温下でも施工が可能です。



衝撃・磨耗に強い

アクリトーンフロアは、衝撃に強いうえ、曲げ強度や耐摩耗性にも優れています。

耐衝撃性試験 1kgの鋼球を1mの高さから落下

試験体	結果
1:2モルタル	6回で破壊
コンクリート	9回でひび割れ・12回で破壊
JEF MR3	50回で異常なし
JEF MM5	100回で異常なし



剥離・ひび割れに強い

アクリトーンフロアは、熱膨張率がコンクリート同様に低く、剥離・クラックが起きにくくなっています。

熱膨張率 $\times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$

普通コンクリート	0.58~1.5
軽量コンクリート	0.7~1.5
気泡コンクリート	0.7~1.4
JEF下地補修材	0.6~1.5
JEFフロア上上材	1.8~2.3
エポキシ樹脂	6.0~8.0
ウレタン樹脂	6.0~7.0



酸・アルカリに強い

アクリトーンフロアは、水溶液、漂白殺菌剤、無機酸、有機酸、動植物油、石油系物質、有機溶剤等多くの薬品類に対して極めて高い耐性を持ちます。

アクリトーンフロア化学的的特性試験

結果:○ = 異常なし

試験品	方法	結果	試験品	方法	結果
水酸化(30%)	試験薬品中に1ヶ月間浸食	○	苛性ソーダ(30%)	試験薬品中に1ヶ月間浸食	○
クロム酸(40%)		○	苛性カリ(50%)		○
塩酸(50%)		○	アンモニア水(10%)		○
硫酸(30%)		○	塩化ナトリウム		○
リン酸(40%)		○	石灰水		○
硝酸(10%)		○	塩酸水		○
硫酸(30%)		○	過酸化水素水(30%)		○
塩酸		○	飽和食塩水		○
酢酸(30%)		○	石鹼液		○
乳酸(10%)		○	その他		○
シュウ酸(10%)	○	石油	○		
クエン酸(30%)	○	ディーゼル油	○		

※数値は保証値ではありません



1日で床のリニューアルが可能です。



(社)日本塗料工業会

F★★★★

安全性は、各機関で証明されています。

アクリトーンフロアは、(財)日本塗料工業会によるホルムアルデヒド放散等級F★★★★を取得。シックハウス症候群に対する安全性も証明されています。また、(財)日本食品分析センターでの変異原生、眼刺激性、急性経口毒性、皮膚一時刺激性の試験において好結果を得たほか、システムに取り入れている特殊防カビ・抗菌材は、米国環境保護庁(EPA)及び、食品医薬局(FDA)などでその安全性が確認されているものを利用しています。